

2018.11.22 <計1枚>

大阪科学・大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

立命館グローバル・イノベーション研究機構 研究拠点成果シンポジウム
「21世紀の日本の強靱で安全・安心な社会を築く新たな研究
～子育て支援、公正な司法、災害予防への貢献～」開催

立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)は、「21世紀の日本の強靱で安全・安心な社会を築く新たな研究 ～子育て支援、公正な司法、災害予防への貢献～」を開催いたします。

R-GIROは、2008年の設立以来「21世紀の持続可能で豊かな社会の構築」に向けて研究活動を展開してまいりました。

今回のシンポジウムでは、歩行研究、生活リズム研究専門家である花王株式会社パーソナルヘルスケア研究所主任研究員の須藤元喜氏に人生100年を健康に生きるためのポイントについて講演いただくほか、R-GIRO研究プログラムの下で活動する3つの人文・社会科学系の研究プロジェクトがこれまでの研究成果を発表します。人文・社会科学のアプローチで21世紀の日本社会が抱える課題の解決策を探ります。

記

日時：2018年11月30日(金)14:00～17:25

場所：立命館大学大阪いばらきキャンパス B棟3階 コロキウム

内容：14:00 開会挨拶 平岡 和久(R-GIRO 副機構長)

14:10 基調講演「花王が取り組む人生100年健康づくり」

須藤 元喜氏(花王株式会社パーソナルヘルスケア研究所 主任研究員)

15:00 話題提供

「科学的根拠に基づく子育て支援に向けてーいばらきコホート研究の取り組みー」
矢藤 優子(立命館大学総合心理学部 教授)「法学と心理学の融合による新たな司法アプローチ -『修復的司法』による問題解決-」
若林 宏輔(立命館大学総合心理学部 准教授)

「環境史・土地開発史・災害史からみた災害リスクへの対応」

矢野 健一(立命館大学文学部 教授)、高橋 学(立命館大学文学部 教授)

16:20 パネルディスカッション「安全・安心な社会を築くための提言」

モデレーター:サトウタツヤ(立命館大学総合心理学部 教授)

パネリスト:須藤 元喜氏、矢藤 優子、高橋 学、若林 浩輔

17:20 閉会挨拶 小山昌久(R-GIRO シニアアドバイザー)

17:30 懇親会(大阪いばらきキャンパス A棟1階 Camping Kitchen)

参加費：無料

申込：氏名、所属、連絡先を明記の上、Eメール(oicro@st.ritsumeit.ac.jp)またはFAX(075-665-2579)でお申し込みください。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 OIC リサーチオフィス 担当:各務(かかみ)、川村(かわむら)、張(ちゃん)

TEL. 072-665-2570